

一人親方で免税事業者の皆さんへの 「インボイス」アンケート

実施期間 2022年4月1日（金）～2022年5月13日（金）

Ver.1.1 2022年5月31日



全国建設労働組合総連合（全建総連）

National Federation of Construction Workers' Unions

1. 地協ごとの回答数


地協名	回答数	割合
北海道東北地協	190	10.0%
北関東地協	85	4.5%
東京地協	179	9.4%
南関東地協	219	11.5%
北陸信越地協	176	9.2%
東海地協	201	10.5%
関西地協	245	12.8%
中国地協	226	11.8%
四国地協	157	8.2%
九州地協	230	12.1%
合計	1,908	100%

2022年4月調査

一人親方で免税事業者の皆さんへの「インボイス」アンケート（全建総連）

① 記入後は組合の事務局にお渡し下さい。または、ファクシミリで全建総連へ送信をお願いします。〈番号 03-3209-0538〉

② スマホからも回答ができます。右のQRコードを読み込み、ご回答下さい。



○ このアンケートは、一人親方で消費税の免税事業者の方に対して行います。仕事に大きな影響を及ぼすインボイス制度を、皆さんがご存じなのかお聞きするものです。

○ 2023年10月から消費税の納税に関する仕組みが変わり、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されようとしています。これにより消費税の免税事業者からの請求書では、上位企業である（本則）課税事業者は、仕入れ税額控除ができなくなり、そのままだと上位企業の消費税納税額が増加してしまいます。

○ 上位企業は下請事業者へ、課税事業者になるよう、迫ってくる可能性があります。

○ 免税事業者の方が、上位企業の求めに応じ課税事業者になって、請負金額が同等だと、消費税の負担が発生し、大きな減収になってしまいます。

○ 全建総連はインボイス制度の導入の見直し・延期を求めています。本アンケートのとりまとめ結果は、行政や政党への要請等に活用していきます。

1. 所属県連・組合名《 _____ 》

2. あなたの主な現場を教えてください（回答は1つ。これ以降は□部分に✓を入れて答える形式）。
 町場、工務店などの現場 地元の住販・不動産会社など建売現場
 大手プレハブ、住宅会社などの現場 ゼネコンの野丁場などの現場

3. あなたは、消費税の免税事業者ですか（回答は1つ）。
 はい いいえ → 課税事業者の方は、これ以降の記述は不要です。

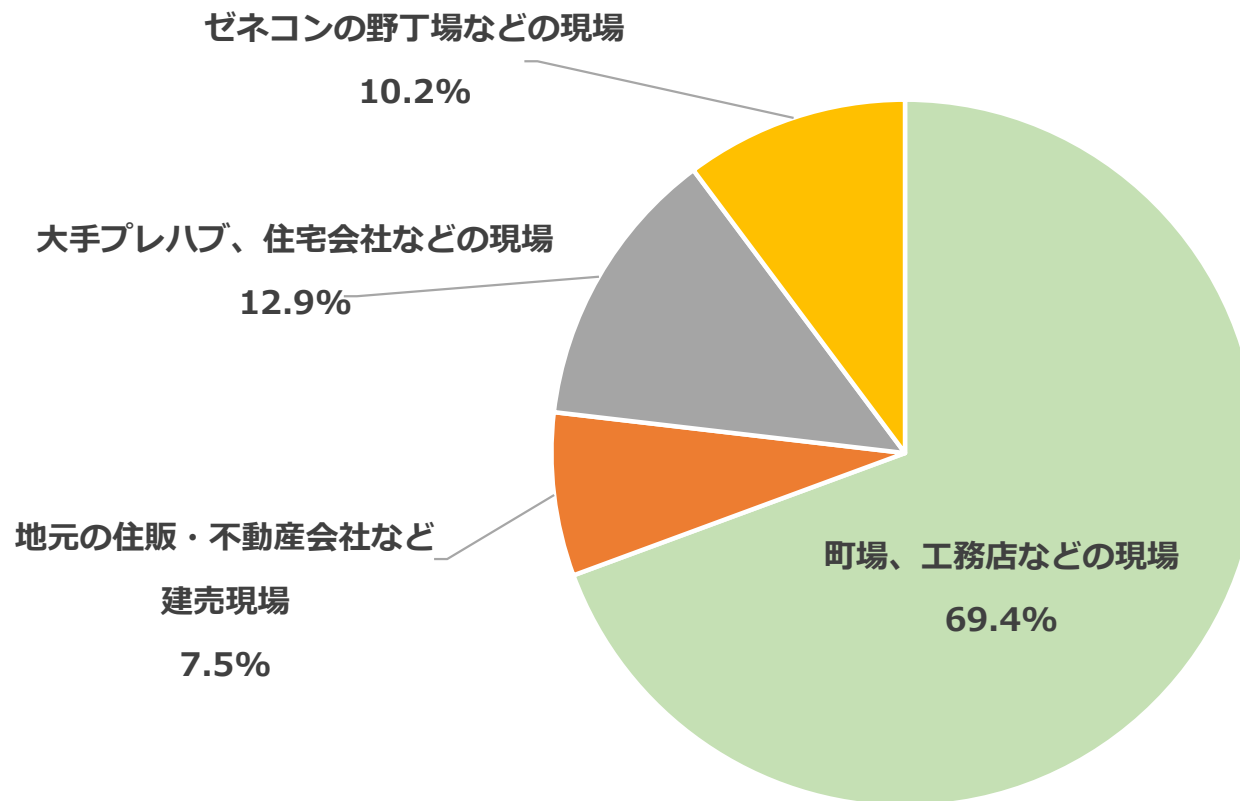
4. インボイス制度が、2023年10月から導入されようとしていることを知っていますか（回答は1つ）。
 大体は知っている 少しは知っている 知らない すでに登録をした

5. 最も多い請負の階層はどれですか（回答は1つ）。
 一次下請 二次下請 三次下請以下 元請

[1]

2.主な現場

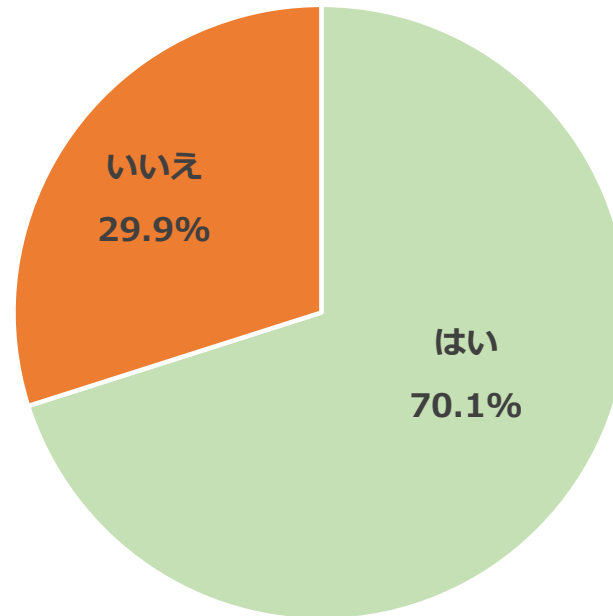
皆さんは主に、どの現場で働いていますか。



2.あなたの主な現場を教えてください	有効回答数	割合
町場、工務店などの現場	1,271	69.4%
地元の住販・不動産会社など建売現場	137	7.5%
大手プレハブ、住宅会社などの現場	237	12.9%
ゼネコンの野丁場などの現場	187	10.2%
合計	1,832	100.0%

3-1. 皆さんは消費税の免税事業者ですか、 それとも課税事業者ですか

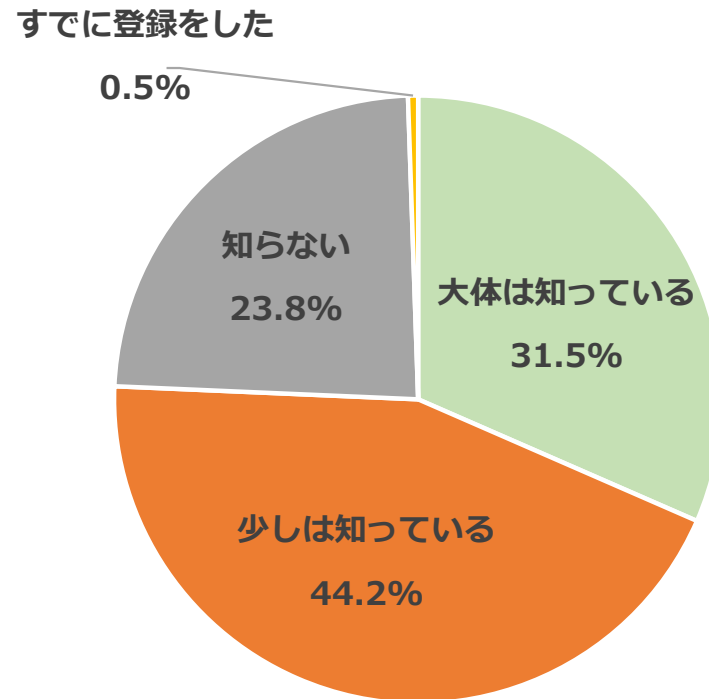
免税事業者の方は、これ以降も回答下さい。
課税事業者の方は、これ以降の回答は不要です。



3.あなたは、消費税の免税事業者ですか	有効回答数	割合
はい	1,312	70.1%
いいえ	560	29.9%
合計	1,872	100.0%

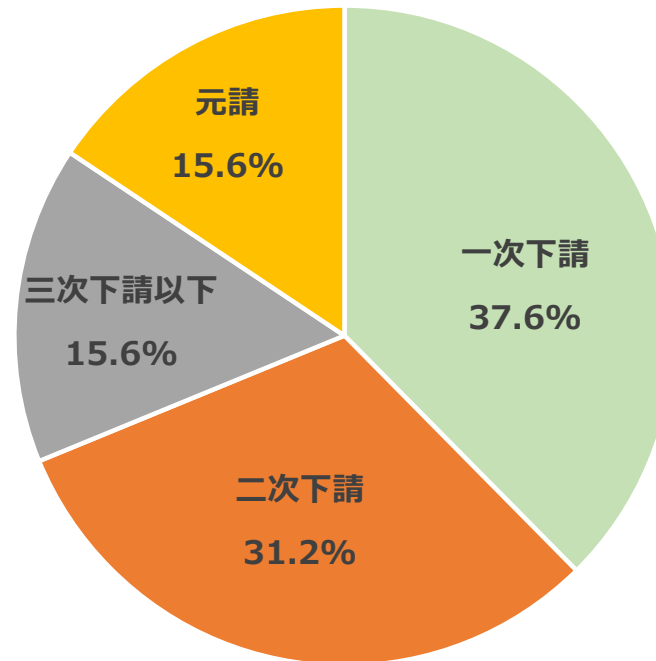
4-1.インボイス制度の周知状況

皆さんは、インボイス制度が2023年10月から導入されようとしていることを知っていますか。



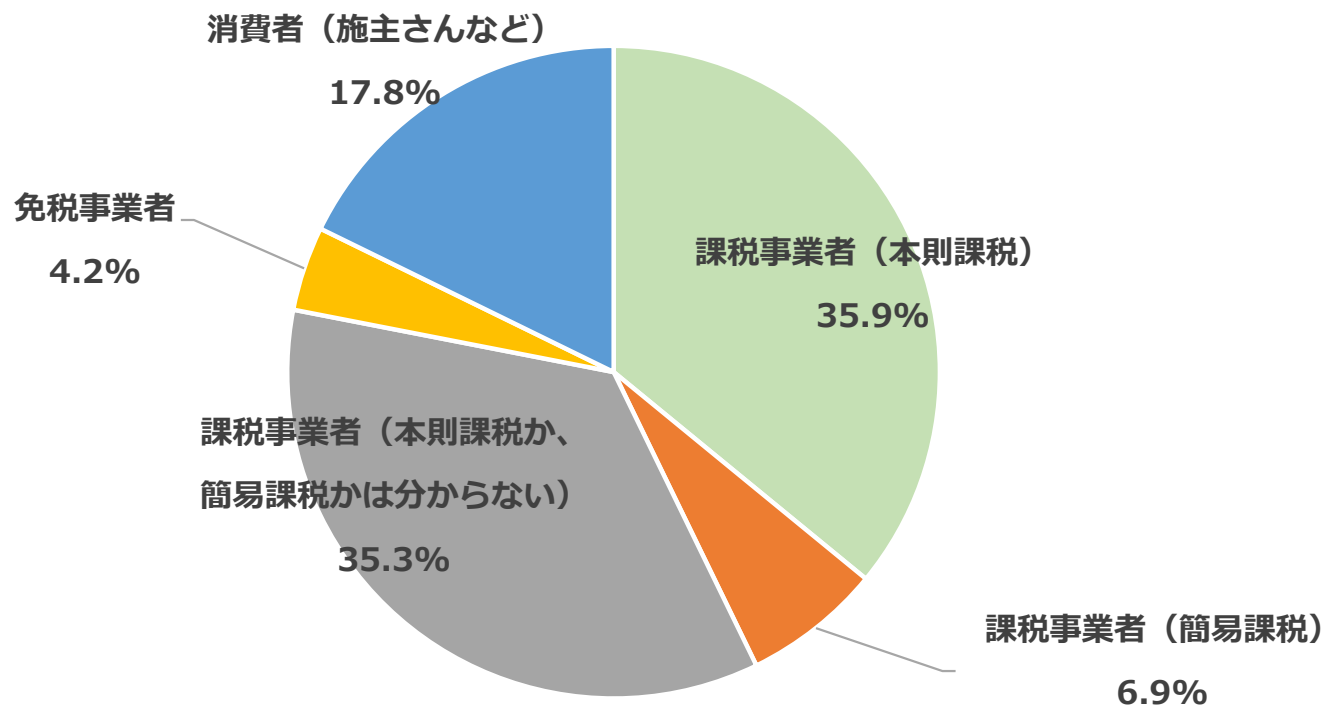
4.インボイス制度が、2023年10月から導入されようとしていることを知っていますか	有効回答数	割合
大体は知っている	410	31.5%
少しは知っている	574	44.2%
知らない	309	23.8%
すでに登録をした	7	0.5%
合計	1,300	100.0%

5-1.皆さんは、主にどの階層で働いていますか



5.最も多い請負の階層はどれですか	有効回答数	割合
一次下請	476	37.6%
二次下請	395	31.2%
三次下請以下	197	15.6%
元請	198	15.6%
合計	1,266	100.0%

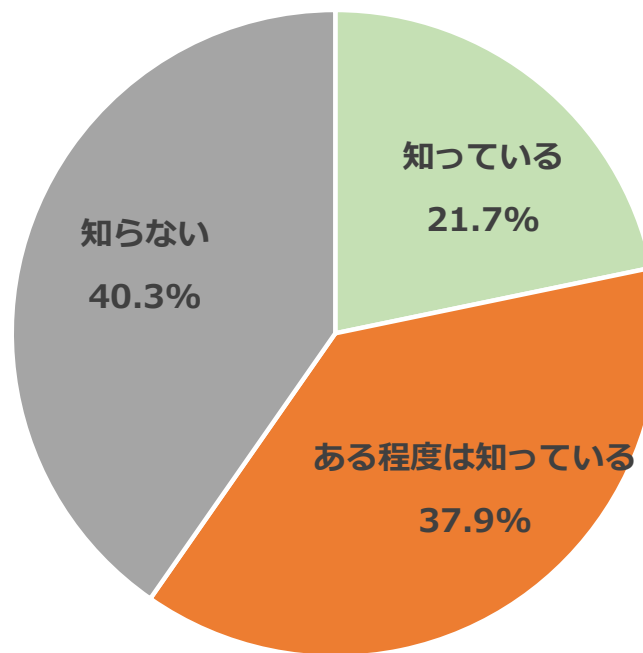
6-1. 皆さんが主に取引をしている相手は、 どの立場ですか



6.主に取引をしている相手は、どのような 立場ですか	有効回答数	割合
課税事業者（本則課税）	429	35.9%
課税事業者（簡易課税）	82	6.9%
課税事業者（本則課税か、簡易課税かは分からない）	421	35.3%
免税事業者	50	4.2%
消費者（施主さんなど）	212	17.8%
合計	1,194	100.0%

7-1.インボイス対応の領収証発行について

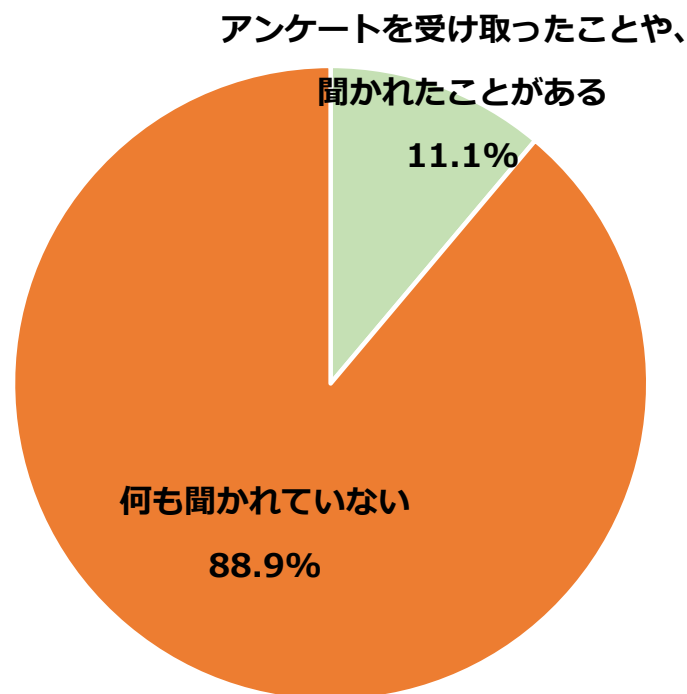
ふだん取引をしている上位企業が課税事業者（本則課税）の場合、2023年10月以降、あなたに対して「消費税を納める課税事業者になり、インボイスに対応した領収書を発行するよう」求めてくる可能性があります。このことを知っていますか。



7.インボイス対応の領収証発行について	有効回答数	割合
知っている	267	21.7%
ある程度は知っている	466	37.9%
知らない	495	40.3%
合計	1,228	100.0%

8-1. 上位企業からのインボイス対応確認

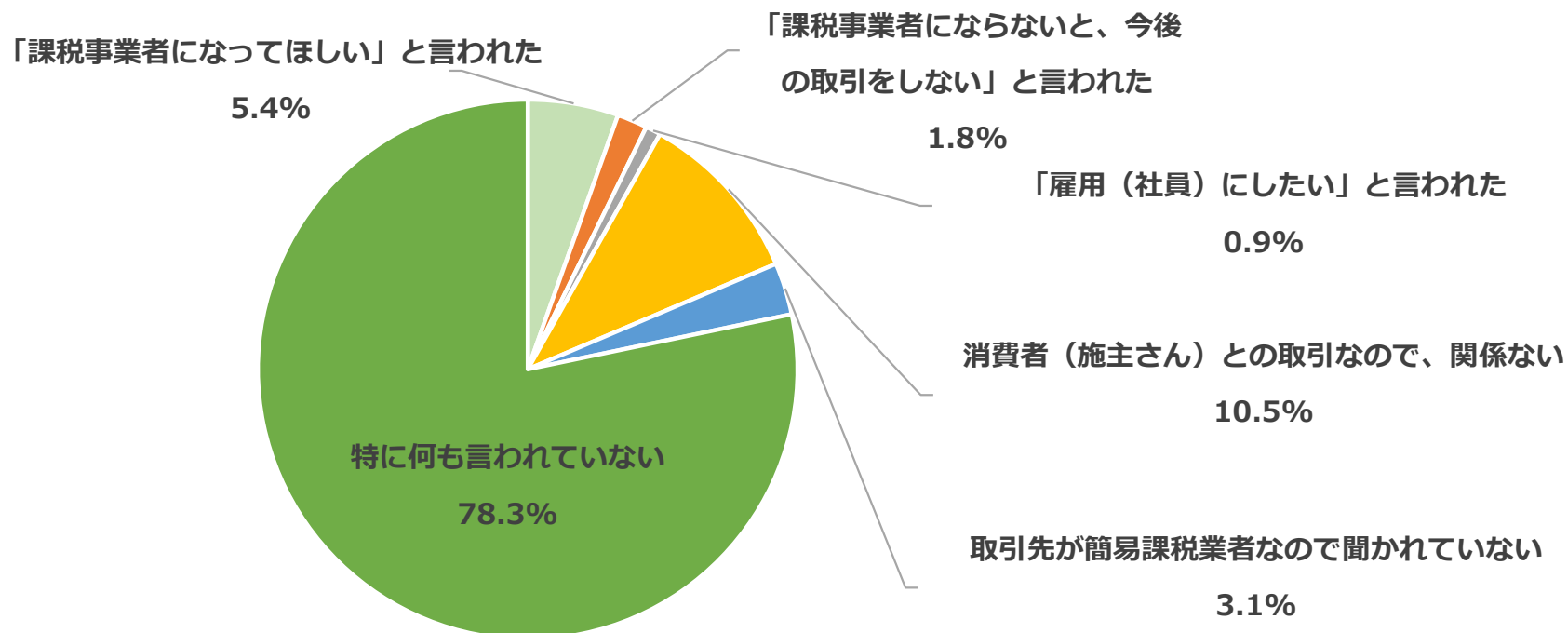
2023年のインボイス制度の導入に向け、ふだん取引をされている上位企業から、「課税か、免税か」を問うアンケートを受け取ったことや、聞かれたことがありますか。



8.上位企業からのインボイス対応確認	有効回答数	割合
アンケートを受け取ったことや、聞かれたことがある	137	11.1%
何も聞かれていない	1,094	88.9%
合計	1,231	100.0%

9-1. 上位企業の対応について

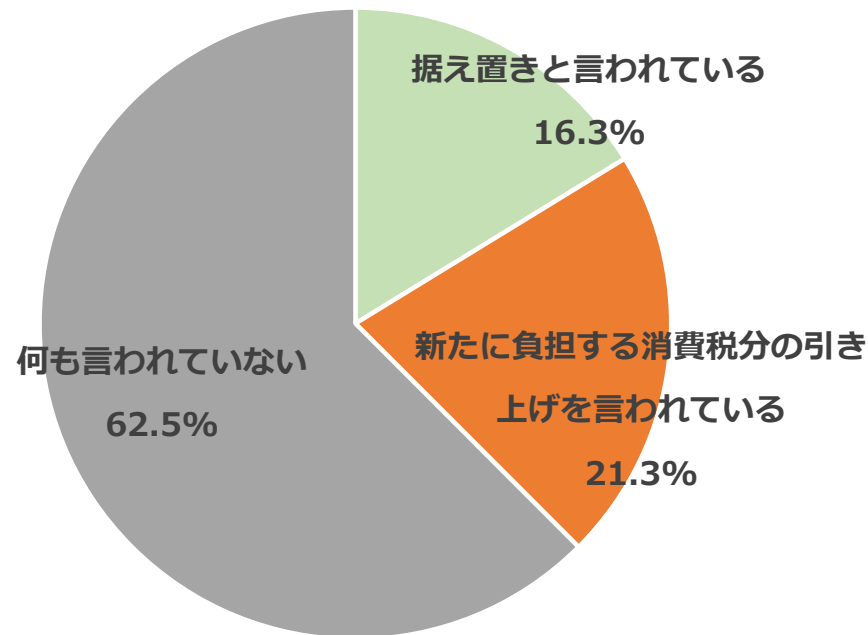
インボイス導入後の、上位企業とあなたの取引について、どのような話がありますか。



9.上位企業の対応について	有効回答数	割合
「課税事業者になってほしい」と言われた	66	5.4%
「課税事業者にならないと、今後の取引をしない」と言われた	22	1.8%
「雇用（社員）にしたい」と言われた	11	0.9%
消費者（施主さん）との取引なので、関係ない	127	10.5%
取引先が簡易課税業者なので聞かれていない	38	3.1%
特に何も言われていない	951	78.3%
合計	1,215	100.0%

10-1.インボイス導入後の請負金額について

このひとつ前の設問9で「インボイス導入後、課税業者になってほしい」「課税業者にならないと、今後の取引をしない」と回答した方にお聞きします。請負金額が同じであれば、あなたが納める消費税分だけ、収入が減ってしまいます。このことについて上位企業から話がありましたか。



10.インボイス導入後の請負金額について	有効回答数	割合
据え置きと言われている	13	16.3%
新たに負担する消費税分の引き上げを言われている	17	21.3%
何も言われていない	50	62.5%
合計	80	100.0%